

(平成 29 年 7 月試験研究業務月報)

試験研究課題：新品種育成に関する試験 系統比較第 11 群

研 究

煎茶用新品種の育成に向け、製茶品質の評価を開始

当所では、宇治茶を支える香り高い煎茶の生産に向けて、京都府独自の煎茶用新品種の育成を進めています。

新品種の候補となるのは、過去に選抜、収集した宇治在来種と奨励品種を交雑した 22 系統です。平成 24～28 年に初期生育の調査を行い、今年度から 6 系統について製茶品質の評価を開始しました。官能検査の結果、1 系統で比較品種より香気や形状が優れました。

今後、残りの 16 系統についても製茶品質の評価を行い、所内で有望系統の選抜を進めます。有望系統については、育種専門部会での評価などを踏まえながら、早い段階での現地適応性試験の実施を目指します。

※育種専門部会… 新品種に求められる特性など、育種方針を関係団体と協議する場



供試系統の栽培風景



官能検査 (7 月 21 日)

今年度

系統比較試験第11群	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
幼木園の調査	●														
摘採園の調査						●	●								
現地試験												●	●		
品種候補の見極め									●	●					

新品種育成計画

農林センター（茶業研究所）